

専門研究 A

今後の特別支援教育の進展に資する特別支援学校及び
特別支援学級における教育課程に関する実際的研究
(平成 26 年度～平成 27 年度)

特別支援学校における教育課程の評価の
現状と課題に関する調査

調査報告書

平成 27 年 10 月

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所

序文

本調査報告書は、本研究所の平成 26 年度～平成 27 年度「今後の特別支援教育の進展に資する特別支援学校及び特別支援学級における教育課程に関する実際的研究」の一環として実施した調査の報告書です。

平成 21 年 3 月、特別支援学校学習指導要領が改訂されました。本改訂では、障害の重度・重複化、多様化への対応、一人一人に応じた指導の充実、自立と社会参加に向けた職業教育の充実、交流及び共同学習の推進等が改善事項として示されました。

本研究所においては、「特別支援学校における新学習指導要領に基づいた教育課程編成の在り方に関する実際的研究」（平成 22 年度～平成 23 年度）において、全国特別支援学校への質問紙調査を実施し、学習指導要領の改訂に関連して、幼児児童生徒の実態を踏まえた望ましい教育課程の編成について考究しました。

また、「特別支援学校及び特別支援学級における教育課程の編成と実施に関する研究」（平成 24 年度～平成 25 年度）では、上記の研究の結果、課題として示された「複数障害種に対応する特別支援学校」、「類型やコース制」、「職業教育」、「交流及び共同学習」、「自立活動と他領域及び各教科との関連」の 5 点について考究しました。これらの研究より、特別支援学校においては、多様なニーズに応える教育課程の編成・実施を適切に評価することが、改善に向けて重要であることが示されました。

以上の研究成果を踏まえて、本研究では特別支援学校の教育課程に関して、その評価についての現状と課題を明らかにすること、また、教育課程の評価の観点と方法を示すことを目的としています。このため、特別支援学校における教育課程の評価の実態と課題について、特に教育課程の評価の際に用いられている資料や評価の項目、教育課程の評価における具体的な取組等に焦点をあて、本調査を実施しました。

本報告書は、このような趣旨で実施した調査の結果をまとめたものです。

研究代表者

教育支援部 総括研究員
長沼 俊夫

目 次

序文

第 1 章 調査の目的及び方法

第 1 節 調査の目的	1
-------------	---

第 2 節 調査の方法	2
-------------	---

第 2 章 調査結果

第 1 節 有効回答校数・有効回収率	5
--------------------	---

第 2 節 学校に関する基本情報	5
------------------	---

第 3 節 教育課程の評価

1. 教育課程の評価の部署	7
---------------	---

2. 教育課程の評価についての中心的な参画者	8
------------------------	---

3. 教育課程の評価を実施する時期	9
-------------------	---

4. 教育課程の評価で使用している資料	10
---------------------	----

5. 教育課程の評価項目	21
--------------	----

6. 教育課程の評価の取組	38
---------------	----

7. 教育課程の改善への取組	54
----------------	----

第 3 章 まとめ	64
-----------	----

資料 「特別支援学校における教育課程の評価の現状と課題に関する調査」調査票

謝辞

研究体制